

みなさんお元気ですか。

大学での合気道授業の様子です。ご覧ください。



4月13日。

U.C.A 大学での女子の合気道授業が終了した。最終日には、15回のクラスのうち50%以上の出席者には賞状を渡した。約16名が登録して12名が修了したことになる。クラスを開始した当初は、10名ほど連続的に稽古に来ていたが、途中で授業があるとか、病気だとか、宿題があつて来られないなどの理由で欠席者が増えた。また、10分くらいの遅刻者も多かった。そして、参加者は減っていき5名くらいなることもあった。しかし、セマナサンタの休暇後はまた戻ってきた。

授業はまずは準備体操をして、人が集まってきたところで各受講生に渡した出席カードに私の印鑑を押す。皆は漢字が珍しく喜んでくれる。次に、前受け身と後ろ受け身を練習する。膝を落としてからの受け身は70%くらいの生徒ができるようになった。



この受け身のような運動は生れて初めてなのだろうか、子供のように嬉しそうに騒ぎながらやっている。その他には、一教、二教、三教などの技もやった。技の中で受講生が一番好きなのは、受け身と三教である。三教の技をやるときは、短刀取りの要領でやる。攻撃側がナイフをもって、相手（取り）の側面に立ち首にナイフを突きつける。もう一方の手は背後から相手の肩を手で抑えて、動けないようにする。このような状態から、取りはナイフを持っている攻撃側の手首を取る。もう一方の手で相手のナイフを奪う。取ったナイフを攻撃側の顔に近づけ、後ろにバランスを崩した相手を今度は、自分の手前に引き倒す。この手と脚の捌きがなかなか分からないようだ。しかし、相手を倒して、相手の手を背中側に持っていき抑え込み終るとなぜか大喜びだ。その後、私は何も言ってもいないし、見本を見せた訳でも無いのに、攻撃側の背中を奪ったナイフで刺す真似をする。そして、大きな声を出しながら飲む。ラテンならではのしぐさだ。



4月18日

今日から男子学生を対象に合気道教室を開始した。8名が登録した。最初に驚いたことは、8割くらいの学生が英語で会話できることだ。前回の女性だけのクラスでは、2割くらいの人しか英語が通じなかった。今回は、私が英語で質問しても大抵の人が英語で返してくれた。それもよく理解できる上手な英語だ。

また、時間もしっかり守ってくれる。2人ほど開始時間より遅れたが、ほんの数分だけだった。授業もまじめに受ける。多少、力みがありすぎてお互いに取り組み合いになるときもあった。きっと私が示した技が本当に自分でもできるかなと思って、相手に対して力だけで試そうとしているからだと思う。前回の女性よりも受け身など簡単にこなすことができる。身体能力も高そうだ。これからが楽しみだ。



4月27日

今日で、4回目を迎える合気道教室。今日は、合気即生活道場のトムさんも助手としてきてくれた。生徒のほとんどが遅れないで来るようになった。私も10時ピッタリに開始できるようになった。最初に、いつもの準備体操、前後受け身をやった。そして、呼吸投げをやった。攻撃側に片手を掴まれたら、合気上げのように自己の手を振り上げて、相手を崩す。そして、側面に移動して、もう一方の手（掌手）で相手の顎を突き、相手を倒す。ここで、強調したことは倒した相手を叩いたり蹴ったりしないで、すぐに逃げること。それを聞いていた生徒たちは、チョッとぼかんとした感じの様子を見せた。でも彼らも相手に反撃はしなかった。前回の女子のクラスでは、笑いながら冗談で相手を叩く真似をしていた。今回のクラスは全員が真面目に稽古している。また、作法についても別に繰り返し注意した訳でもないが、最初に入場したときや退場するときには、私に礼をするようになった。いい学生たちだ。頭も育ちもいいのかなあ。